

赤磐商工会 経営発達支援計画事業 第2回特別審議会会議結果
(伴走型小規模事業者支援推進事業)

1 日 時 平成30年1月25日(木) 14時～15時

2 場 所 山陽産業会館2階ふるさと交流室

3 参加者 10名

委員長	中小企業診断士	松本 直也
委員	赤磐市産業振興部 商工観光課長	歳森 信明
	赤磐市産業振興部 商工観光課	正盛 充敏
	岡山市産業観光局 産業振興・雇用推進課	板野 直孝
	岡山県商工会連合会 組織支援課長	津田 健治
	赤磐商工会 会長	金谷 征正
	赤磐商工会 副会長	田中 英昭
	赤磐商工会 副会長	戸田 恒則
	赤磐商工会 熊山地区代表	相浦 正明
	赤磐商工会 瀬戸地区代表	笹埜 洋一
事務局	赤磐商工会 事務局長	黒住 和正
	赤磐商工会 支援課長	竹並 義人
	赤磐商工会 支援2課長	上野 淳

4 議長氏名 松本 直也

5 議 事

(1) 地域経済動向調査結果の報告

(2) 審議事項

① 平成29年度伴走型小規模事業者支援事業の報告

② 報告を踏まえての検証

③ 平成30年度伴走型小規模事業者支援事業者の方向性

(4) 意見交換

(開 会)

定刻に至り、司会者(事務局)は、平成29年度第2回特別審議会を開会する旨を宣した。

(会 長 挨拶)

司会者は、商工会会長に挨拶を求め、これを受けて金谷会長は挨拶を行った。

(結果報告)

委員長から地域経済動向調査結果の報告があった。

(議事)

議長は、議事①平成 29 年度伴走型小規模事業者支援事業の報告、②報告を踏まえての検証、③平成 30 年度伴走型小規模事業者支援事業者の方向性についてを一括上程し、事務局に説明を求めた。事務局は、資料により次のように内容を説明した。

①平成 29 年度伴走型小規模事業者支援事業の報告

概ね目標数値をクリアできているが、セミナーへの参加事業所が少ない。
事業の周知や理解を高める必要がある。

②報告を踏まえての検証

事業計画に基づき実施されているが、赤磐ブランド、特産館アグリとの連携が薄い。
次年度は、連携した事業展開を検討する。

③平成 30 年度伴走型小規模事業者支援事業者の方向性

本年度事業のステップアップとして、ビジネスチャンスの深堀調査、巡回訪問等を通しての経営分析、経営セミナー・個別相談会のフォローアップ、販路拡大の展示会出展、職員資質向上への取り組みなどを検討したい。

議長は、出席者に意見を求めたところ、次のとおり発言があった。

(主な発言)

委員長：フォローアップの範囲はどうか。

事務局：既に実施されている事業計画やセミナー・個別相談会の参加者が該当になる。

歳 森：商談会の成約数は目標を達成できたか。

事務局：商談会で延べ 32 回の面談をおこなっている、商談会後の取引先紹介なども引き続き行われているため、目標である成約数 9 件を達成できる勢いである。

笹 埜：実際に商談会に参加して、新規顧客との面談で見積もり依頼があった。

福岡地区での商談は、初めてだったので有意義であった。

議長は、議事(4)意見交換について、出席者に質疑を求めたところ特に発言はなかった。

以上をもって提出議案の審議は終了した。

時に 15 時であった。

(閉会)

商工会筆頭副会長である田中委員より閉会挨拶があった。